

1月～3月の りた

時 開催時間 対 参加対象
所 参加場所 申 参加方法
¥ 参加費 持 持ち物
定 定員(選定方法) 該当テーマ

なごみん 66-8251

1/20 **なごみん防災講座
～“とりあえず避難所
へ”で大丈夫?～**

「避難所に行けば誰かが指示をしてくれるから大丈夫」と思っていませんか? 避難所の運営は原則として住民の自主運営です。今回は、講話に加えHUG(避難所運営ゲーム)を実践します。

時 14:00～16:00
所 なごみん ホールA
¥ 無料 定 30名
申 事前になごみんへお申し込みください。

やはぎかん 33-3665

1/20 **家族を守るための
ポウサイ**

矢作地域の特色を学ぶ防災講和や防災グッズづくり、非常食の試食などを通し、子育て世代に役立つ防災の知恵を学びます。

時 10:30～12:30 所 やはぎかんホール
¥ 無料 定 100名(先着順)

同日開催
講演13:30～15:00(開場13:00～)
「あのとき起こったこと! 自宅避難から学ぶ“1日1防災”」東日本大震災での被災経験を話し、活動されているイラストレーター・防災士のアベナオミ氏による講演(参加費:500円)

なごみん 66-8251

1/27 **まち育てスクール
岩津発展の足跡をたどる
～船着き場があった時代～**

岩津の由来となった船着場(津)があったとされる天神橋付近をはじめ、若一神社、円福寺などの歴史ある寺社仏閣をたどります。

時 9:00～12:00 所 なごみん 第2活動室
¥ 無料 定 20名(先着順)
申 事前になごみんへお申し込みください。

市民活動センター 23-3114

2/8 **第8回岡崎NPO
コラボひろば**

聞いたことはあるけれど活動内容をよく知る人は少ない「民生委員」。その実態について学ぶべく、岡崎市役所地域福祉課の職員を特別ゲストとしてお招きします。

時 13:10～15:00
所 図書館交流プラザリぶら 103会議室
¥ 無料
申 事前に市民活動センターへお申し込みください。

悠紀の里 57-5050

2/25 **3周年
ゆきフェスタ**

悠紀の里の周年記念イベント。公益活動をしている団体・個人の成果発表の場として、歌やマジックなど館内3つのステージでのパフォーマンスや、作品や活動内容の展示などが行われます。手づくり雑貨やお好み焼きなど食品やお菓子の販売もあります。みなさまでご来場ください。

時 10:00～15:00
所 悠紀の里 全館
¥ 無料(一部有料)
申 直接悠紀の里へお越しください。

むらさきかん 66-3066

2/25 **東部の活躍人!
交流会**

東部地域(主に額田地区)で活躍する市民活動団体・地域団体が集まり、情報交換と親睦を図る交流会を開催します。

時 9:30～13:00
所 額田センター(こもれびかん)
¥ 500円(昼食代)
申 事前にむらさきかんへお申し込みください。

やはぎかん 33-3665

3/4 **やはぎかん
10周年春まつり**

2月で10周年を迎えるやはぎかん。やはぎかんで活動する市民活動団体や地域団体が集まり、ステージ発表・体験・展示等を行います。

時 14:00～16:00
所 やはぎかん 全館 ¥ 無料(一部有料)
申 直接やはぎかんへお越しください。

よりなん 59-3600

3/4 **まち育てスクール
(タイトル未定)**

三河一向一揆の拠点となった勝鬘寺をはじめ、岡崎駅西側の歴史スポットを巡ります。地域のことを学んでみませんか。
※企画中のため詳細未定

NEWS

第7回 岡崎まち育てフェスタ

～誰もが暮らしやすいまちづくり～

岡崎市市民活動団体、NPO、企業などの公益活動を行う団体と、その活動に関心のある個人を対象としたイベントです。まちづくりの先進事例を学び、多彩な団体との交流ができる年1回のチャンスです。お見逃しなく!

日時:平成30年1月28日(日) 13:30～16:15

場所:やはぎかん 2階ホール

料金:無料

申込:リぶら市民活動センター TEL:0564-23-3114 FAX:23-3142

※開場～講演およびパネルディスカッションの時間帯(13:30～15:00頃)には、手話通訳および要約筆記がございます。



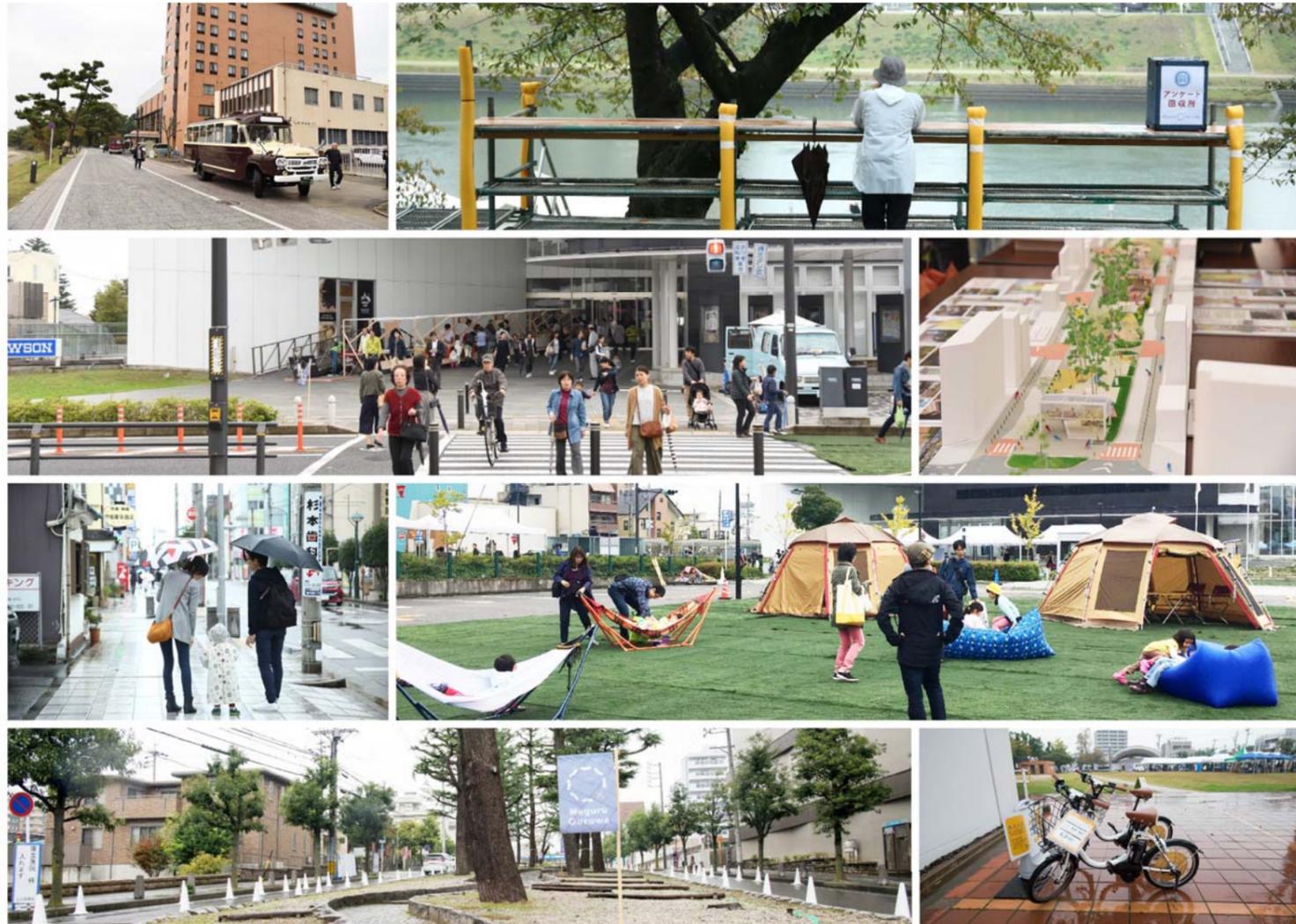
まちのミカタ

Litaracy

ーりたらしいー

90

2018年1月



特集 社会実験から、まちの未来の日常へ 10/28 MeguruQuruwa を振り返る

「あなたは、まちとどう過ごす?」をキャッチフレーズに10月28日(土)に実施した社会実験「MeguruQuruwa」。

「こうあってほしい、未来の1日を実現してみる」というコンセプトのもとに、岡崎城跡の「総曲輪(そうぐるわ)」内にある公園や川、駐車場、道路といった公共空間を活用するための実験的な試みが行われました。対象エリアは「乙川河川敷～中央緑道～籠田公園～連尺通り～りぶら」です。

今回の社会実験では、一緒に社会実験に取り組んでもらう担い手を募集するワークショップを7月17日(月)・20日(木)

に開催。各種法令に基づいた企画審査の上、44の個人・団体による55件のプログラムが企画されました。

しかしながら、当日は台風22号が近づく影響であいにくの雨模様。規模縮小や延期を余儀なくされるプログラムもあったなか、36件のプログラムが実施され、結果的には3,000人以上がQuruwaエリアに来場。雨なら雨なりの「理想の暮らし」と言えるような風景が繰り広げられ、近い未来の岡崎のまちの日常を感じさせる1日となりました。

(詳しくは裏面をご覧ください。)

特集

社会実験から見た、まちの未来の風景

●なぜ、社会実験をやる必要があるのか

2015年から進められている「乙川リバーフロント地区整備計画」。この計画は、駅前整備や岡崎セントラルアベニュー(仮称)などの公共主導の「大きなリノベーション」と、民間の遊休不動産を活用し、新たなまちの産業創出を試みる「小さなリノベーション」を組み合わせることでエリアの価値を高めることを目的としています。そこから民間投資を誘発し、まちの賑わいの再生と持続可能な都市経営の実現を目指しています。(重点エリアは、右記の通り)

社会実験「MeguruQuruwa」(前掲)では、エリアの未来を見据え、一過性の非日常のイベントではなく、**未来の日常をつくる**という目的を掲げています。普段あまり活用されていない公共空間を舞台に、エリア毎に検証項目とテーマを設定。民間の担い手それぞれの「やってみよう」という思いを実行し、その活動を継続させるための可能性を検証しました。



▲ピンク:乙川リバーフロント地区
イエロー:主要回遊導線「Quruwa(くるわ)」

このエリアでは、リノベーションまちづくり(⇒Litaracy84号参照)や、かわまちづくり(⇒Litaracy89号参照)が進められており、まちに変化の兆しがあらわれてきています。

●各エリアの検証項目と参加者の声【アンケートより一部抜粋】



▼りぶらエリア 検証項目 ~ りぶらから街へのにじみ出し ~

りぶらのエントランスに屋台を並べたり、りぶらとシビコをつなぐプロムナードに休憩スペースや展示スペースを設置。★参加者の声:「りぶら入口付近のパン屋が買いやすくて良かった。」「悪天候にも関わらず、利用者が多くりぶらとシビコを繋ぐ人の流れが多少できた。天候が良ければ、もっと目に見えるような人の流れをつくれたのでは?と手応えを感じた。」「☆担当者の声:「りぶらの外と中をつなぐエントランス前に屋台を並べること、まずりぶらから出てみる、という大きな理由になった。」



▼籠田公園エリア 検証項目 ~ 未来の公園の使い方 ~

現在設計中の岡崎セントラルアベニュー(仮称)の構想にあわせ、将来のステージの向きにテントを配置。巨大テントの下でDIYワークショップやマルシェを開催。★参加者の声:「雨にも関わらず、出店された方々のエネルギーを感じた。大きなテント内に集中して出店していたので賑わいと活気にあふれていた。」「特別な日常というより、日々の中に馴染んだ素敵な空間になっていた。」「☆担当者の声:「将来の設計計画にあわせてテントを配置したところ、南北どちらから来た人もスムーズにテント内に取り込めた。」



▼連尺通りエリア 検証項目 ~ 回遊や滞留を促すストリートデザイン ~

籠田公園の北西交差点から連尺通り1丁目交差点までを歩行者天国にし、道路や軒下に個性的な露店が並んだ。★参加者の声:「今日はなんか楽しい日だった。」「☆担当者の声:「普段通りすぎるだけの道路空間で、立ち話をしたり、子どもが遊んでいるのを見ていたりそこに留まる風景があり、にぎわいを感じた。」

▼乙川河川敷エリア ~ 河川敷~堤防道路~地先まで一体的な活用 ~

堤防道路の上にデッキや休憩スペースを設置し、川につながるスペースを演出。★参加者の声:「雨が降って乙川で予定していたプログラムのほとんどが実施できなかったが、堤内テラスは魅力的だと感じた。」「堤防道路が緑のトンネルになっており、緑の豊かさを再認識できた。」「☆担当者の声:「川を眺めるカウンターテーブルが気持ち良い使われ方をしていた。川を眺めるしつらえをつくるのが重要だと感じた。」



●未来の日常化へ向けて(振り返り会より)



11月28日(火)は主催者やプログラム実施者、サポーターを集めて振り返り会を実施。社会実験の感触や課題について意見交換をしました。プログラム実施者からは「雨で中止になった企画があり残念だったが、夢が叶ったと感じた」「今後もこのような公共空間の使い方を広げる社会実験をすべき」「休日だけではなく平日も実施したい」「次回は収益化を検討したい」などの意見が。サポーターからは「いいイベントだったので、もっと広く市民に伝わるよう情報発信の仕方を工夫してはどうか」「継続することで周辺住人の理解も得られるのでは」などの声が上がりました。それらの声を受けて、主催者である岡崎市乙川リバーフロント推進課の神谷副課長

は「にぎわいと活気が一時的ではなく、将来に渡って持続するような計画を通していけるよう努力したい」と述べられるなど、次の展開に向けた期待を感じさせる場となりました。社会実験は、将来にわたって持続する未来の日常化を目指し、今後も継続的に実施する予定です。



「MeguruQuruwa」の詳細、社会実験の今後の展開については、おとがわプロジェクトHP(<http://otogawa.jp/>)で随時発信しています。

11月~12月のりた

なごみん 11/5



地域活動 マッチング サミットin北部

北部地域で活動する市民活動団体の活動発表と交流の場を開催。各団体が活動内容や運営のコツを共有できたほか、市民団体同士の協働のきっかけにもなりました。例えば、「EM菌を活用した無農薬の野菜作りを行う団体」

と「幼児向けの食育講座を行う団体」では、講座に使用する食材として無農薬野菜を提供すること。また「マジックのショーや講座を行う団体」と子ども向けの放課後デイサービスを行う団体では、子ども向けのマジック講座を開催することなど、7団体の出席から3つのマッチングが成立しました。また予想を上回る一般来場者が訪れたこともあり、団体と個人も交流しながら打ち解けた会話が弾み、市民活動団体への理解を深める良い機会にもなりました。

市民活動センター



11/11・12・18 マッチング りぶらぶらり散歩

図書館交流プラザりぶらの館内と周辺を巡るツアーを開催。県内有数の蔵書数を誇る岡崎市立中央図書館のバックヤードが見られるツアー、岡崎の城郭跡を江戸時代の古地図と見比べて歩くツアー、城下町・康生町の老舗を巡るツアーなど、全4コースを解説付きで巡りました。なかでも「りぶらの秘密発見ツアー」では、床と書架の色分けによって見やすくする工夫のほか、用途に合わせて組み替えられる机や収納性の高いイスを採用していることなど、随所に隠された秘密を見てまわりました。「普段なにげなく使っていた施設だけど、使う人のことを考えてくれたことがわかってうれしい」などの感想が聞かれ、りぶらに親しみをもってもらえる機会となりました。

なごみん 11/17



なごみんカレッジ

手話講座~応用編~ 岡崎聾学校の生徒のみなさんを講師に迎え、手話講座を開催。25名の方に参加をいただき、桃太郎やさるかに合戦などの昔話を手話で発表しました。

やはぎかん 11/25



やはぎ大楽ものづくり講座

社会福祉法人せきれい彩(さい)から講師を招き、クリスマスリースづくりの講座を行いました。

むらさきかん 11/26



食育教室

藤川まちづくり協議会、愛知学泉短期大学と連携し、お子さんを対象とした食育教室を開催。むらさき麦を使用した「クッキー作り」や「栄養」についてクイズ形式で楽しく学んでもらう機会となりました。

まち育て推進チーム



12/1~12/3 マッチング リノベーションスクール @ 岡崎

公募によって選ばれた参加者が、3日間に渡り康生地区にある実際の遊休不動産の活用方法を考え、オーナーに事業提案を行いました。

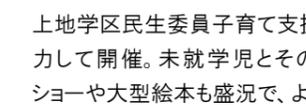
市民活動センター 12/12



[NPO講座] 助成金に頼らない団体運営セミナー

公益財団法人あいこコミュニティ財団代表理事の木村真樹氏を講師に迎え、団体を成長させる資金調達ノウハウを学べるセミナーを開催しました。

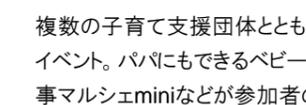
よりなん 12/16



よりなんクリスマス会

上地学区民生委員子育て支援グループや岡崎女子大学と協力して開催。未就学児とその保護者を対象としたマジックショーや大型絵本も盛況で、より良い協働の機会となりました。

悠紀の里 12/17



おやこクリスマス

複数の子育て支援団体とともに実行委員会を作って運営したイベント。パパにもできるベビーマッサージ、園児にもできる手仕事マルシェminiなどが参加者の好評を得られました。